



地球温暖化問題は今世界で一番関心の高いテーマで、世界的な二酸化炭素の排出抑制については、一般的に知られていますが、温室効果ガスのなかには二酸化炭素（76%）の他にメタン（16%）、一酸化二窒素（6.2%）が含まれていることは、あまり知られていないようです。

日本の農林水産分野の温室効果ガス総排出量のうち、牛などのげっふと排泄物から出るメタンと一酸化二窒素は、そのうちの約3割弱になるそうです。農林水産省は、家畜由来の温室ガス削減を目指すため、メタン排出が少ない個体と一般的な牛を比較研究し、発生のメカニズムを分析する方針だそうです。

地域医療構想における当院の役割

今回は、院長がくるみ便り当番です。少し視点を変えて、医療ニュースではなく、医療制度の面から療養型病院の社会的使命と位置づけ、それに基づく当院の進むべき方向性について書いてみようと思います。介護サービスも当院の重要な仕事ですが、今回は医療の面に絞りたいと思います。

医療行政は、地域医療構想に従って推進されています。財政のひっ迫により、病院から施設、さらに施設から在宅へ療養の場所を移すことを目指しています。これに伴い、公的病院では病床数を減らしており、存続すら見通せない状況です。当院でも病棟50床を介護施設（介護医療院）に転換したところで

病床数の削減に加え、急性期病院の入院日数が厳しく制限されています。療養型病院でも、入院の目的が療養から自立支援・在宅復帰に重点が置かれていくようです。急性期病床が減っている以上、入院日数を短くしないと急性期医療がパンクします。そのため、病状が落ち着かない時期で退院するケースが増えています。つまり、療養型病院の入院患者が重症化する側面と、療養型が回復期病棟的な役割をして在宅復帰を目指す側面があります。

病状が落ち着かない状態ですぐには在宅や施設療養が困難と判断されたケースの多くは、療養型病院へ入院になります。そのため、療養型病院にもこれまでより高度な医療体制が必要になります。また、療養型病院入院後に退院可能になるケースも増えてきており、リハビリテーション・自立支援、退院調整機能、在宅医療支援も求められます。また、入院の重症化に伴い、病状の急変も稀ではありませんが、急性期病院の負担軽減の観点から、安易に救急病院を頼ることなく、自院内での救急体制を充実する「慢性期救急」も求められています

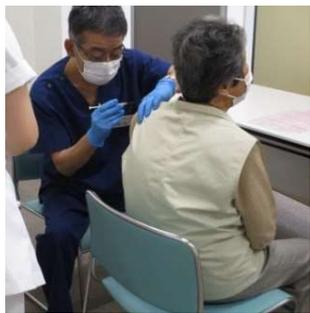
以上に述べた様に、急性期病院にはない、療養型病院に特有な専門性が求められるようになってきました。私たちは、療養型病院の専門性を磨き、地域医療の中で名誉ある地位を占めたいと思います。

最後は憲法前文のパクリになりましたが、これからも努力を続けてますので、よろしく願い申し上げます。

担当部署：医局



新型コロナワクチン接種が始まりました



5月17日(月)から当院でも、75歳以上の方を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種を開始致しました。接種に来られる際には、以下の点にご留意頂きますようお願い致します。

- 1 当日は、混雑も予想されますので、密を避けるため、あまり早く来られることは避けて下さい。
(時間通りにお越しください。)
- 2 1Fロビーにて受付をしております。係員の案内に従いお進みください。
- 3 注射は肩にしますので、なるべく肩の出やすい半そでのシャツ等を着て来て下さい。
- 4 予診票は、事前にご記入の上お越しください。



<ワクチン接種時間>

午前(10:00~11:30)

→月・水・木・金

午後(14:00~15:30)

→月・水のみ

***火・土は原則行いません。**お間違えの無いようご注意ください。

鯉のぼりの壁紙作り

ショートステイでは利用者さん達に手伝ってもらいながら、職員と一緒に鯉のぼりの壁紙作りをしました。

折り紙で折ったカラフルなうろこを一枚一枚丁寧にのり付けて仕上げていきました。



6月 HAPPY BIRTHDAY

池田 潤一 様 83歳
 鎧塚 弘美 様 78歳
 山崎 静子 様 87歳
 豊田 義和 様 70歳
 竹内 省一 様 74歳
 前田 正一 様 94歳

小嶋 真由美 様 63歳
 上野 喜代子 様 95歳
 間坂 善一郎 様 93歳
 松本 美津子 様 92歳
 小笠原 龍雄 様 89歳
 阿原 稔 様 92歳

☆デイケア・ショートケアの方も掲載しています。



☆編集後記☆

先日子供の運動会がありました。その週は毎日雨の予報でしたが、運動会当日は夏の様な暑さで、子供達も汗だくになって頑張っていました。コロナ禍と言う事で、半日のみの開催。早く普通の日常に戻ればと願います。(I)

基本理念

患者さんの生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。
 信頼と安心の施設・在宅支援サービス及び患者さんに寄り添う終末期医療を提供します。
 地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。
 職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。

令和3年2月8日改定

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。